

**JAMA・JAPIA EDI 標準帳票
ページプリンタ用紙
ラインアップ**

小林クリエイト株式会社

URL : <http://k-cr.jp/>

1. JAMA・JAPIA EDI 標準帳票について

JAMA・JAPIA EDI 標準帳票は、(社)日本自動車工業会(JAMA)と(社)日本自動車部品工業会(JAPIA)が連携して、EDI 関係の帳票の標準化を行なったもので 1999 年 9 月に制定されました。

JAMA・JAPIA EDI 標準帳票制定の目的

- ① 部品メーカーの出荷、物流業務の効率化による供給リードタイムの短縮を図る。
- ② 物流経費削減を図る。
 - －帳票に関わるコスト及び出荷端末機器類の削減。
 - －取引先拡大に伴うハードウェア、ソフトウェア新規投資の抑止。
- ③ OEM に伴うカーメーカーの補修部品受入れ業務の標準化を図る。
- ④ 業際化・国際化に対し業界としての共通基盤を確立する。

JAMA・JAPIA EDI 標準帳票の特色

- ① 帳票の共通化・共用化を実現
- ② プリンタ・スキャナ・用紙のガイドラインを加えた
- ③ 従来のバーコードに加え、2次元シンボルQRコードを採用

現在、各自動車メーカーの部品調達には、JAMA・JAPIA EDI 標準帳票が利用されています。
更に、自動車部品メーカーにおいても、標準化のメリットを享受するべく、自社の部品調達に JAMA・JAPIA EDI 標準帳票を採用する動きが拡大しています。

2. 小林クリエイトの JAMA・JAPIA EDI 標準帳票への取組みについて

- ・ JAMA の電子情報委員会・EDI 部会・帳票分科会にオブザーバーとして参加し、標準帳票の帳票設計や仕様・紙質の検討など標準帳票ガイドラインの制定へのご協力させて頂きました。
(JAMA ホームページにおいて JAMA-JAPIA EDI 標準のコーナーの中で EDI 標準関連ベンダーの 1 社として、ご掲載頂いています。 URL: http://www.jama.or.jp/it/biz_sys/05b.html)
- ・ レーザープリンタ用・サーマルプリンタ用など各種の JAMA・JAPIA EDI 標準帳票用紙を品揃えしており、お客様のご要望に応じた商品をお届けします。

<小林クリエイトの JAMA・JAPIA EDI 標準帳票の特長>

◆ 安定運用可能な品質

- ・ サーマルプリンタ用：プリンタメーカー毎に印字品質やプリンタ適性の確認された安心してご使用頂ける商品をご用意しています。
- ・ ページプリンタ用：レーザープリンタ出力に適した専用紙を使用し、ミシン目加工にはバリの少ないミニピッチミシンを採用するなど、印字品質やプリンタ走行性にこだわり、小型卓上のプリンタから大量発行用高速プリンタに至るまで、安心してご使用頂ける商品をご用意しています。

◆ 現場での運用に配慮した製品設計

ページプリンタ用における例

- ①. お客様のご要望に応え、製品の裏面に品名と給紙方向のガイドを印刷し、用紙の表裏や左右（ミシン目位置）をひと目で判断できるようにしてあり、用紙セットミスによるロスの防止に配慮した製品となっています。

(表示イメージ)



- ②. 用紙の取り出しやすさと品質の維持に配慮した梱包形態を採用しています。
<再開封性の高いC式箱（かぶせ蓋形式の箱）、湿度の影響によるプリンタ適性の低下を防ぐビニール包装など>

3. JAMA・JAPIA EDI標準帳票 (ページプリンタ用) 一覧

| No. | 1 | 2 | 3 | 4 | |
|-------------|---|--------------------------------|--------------------------------|--------------------------------|--|
| 種別 | 納品書 | | 現品票 | | |
| 品名 | 納品書 (多品一葉) | 納品書 (一品一葉) | 現品票 (S) | 現品票 (L) | |
| 弊社 品名コード | JAMA-1 | JAMA-2 | JAMA-3 | JAMA-4 | |
| 紙厚 | ページプリンタ専用紙 70Kg | | | | |
| 仕 様 | 形態 | | | | |
| | | | | | |
| 梱包入数 | A 4・2000 枚/箱 | A 4・2000 枚/箱 (3 面付 6000 件分) | A 4・2000 枚/箱 (3 面付 6000 件分) | A 4・2000 枚/箱 (2 面付 4000 件分) | |
| 備考 | <p>小林クリエイトのページプリンタ用 JAMA・JAPIA EDI 標準帳票用紙は、裏面の 4 辺中央に品名とセット方向を示す A・B・C・D の表示が印刷されていますので、用紙セット時に用紙種類やプリンタ機種毎の用紙セット方向をご確認頂き易くなっています。</p> <p>もちろん、ページプリンタでの出力に適した紙質ですから、安心してご利用頂けます。</p> | | | | |
| 今後の動向 | <p>現在、自動車部品メーカーから自動車メーカーへ部品を納入する際に、JAMA・JAPIA EDI 標準帳票が使用されています。</p> <p>今後は、自動車部品メーカー相互の取引においても使用が広まる見込みです。自動車業界の標準帳票として既に実績も豊富なため、小規模のお取引先様でも 1 箱から手頃な価格でお求め頂くことが可能です。</p> <p>また、ページプリンタ用に関しては、現在何らかの業務でお使いのページプリンタでも出力して頂くことが可能であり、導入初期のコスト負担が軽減可能です。</p> | | | | |

※：サーマルプリンタ用についても各種取り揃えておりますので、弊社・営業スタッフにお問い合わせください。

QRコード診断サービス

小林クリエイトでは、JAMA・JAPIA EDI 標準帳票用紙に付帯する有償サービスとして、QRコード診断サービスを行なっております（診断費用：1シンボル当たり3,000円）。

QRコードの印字品質が規格に合っているか検証した上で問題があった場合には、改善策の方向性についてアドバイス・ご提案を実施します。

QRコード診断の用途

QRコードの印字品質が規格に合っているかを把握でき、読取り不良のトラブルを事前に防止できます。また、問題発生時の要因追求と対策に役立ちます。

漢字・かな あるいは、大量データを入力するのに用いられるQRコードが万一読取れない事態が生じた場合、運用に大きな支障を来す可能性もあります。

安全・安心な運用の実現のためにもQRコード診断サービスをご活用ください。

QRコード診断結果

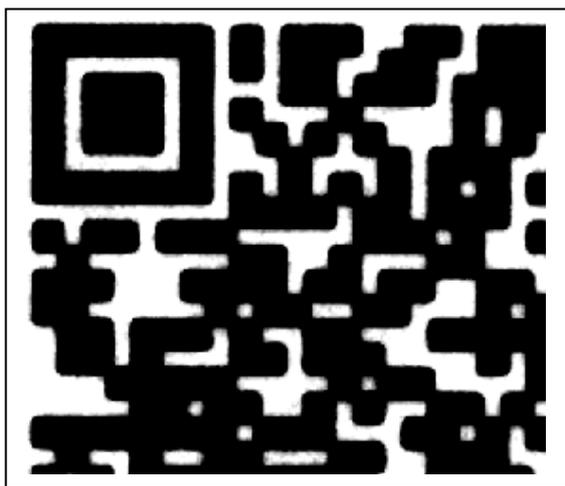
印字品質の判定結果をA～Fのグレードで表示して報告します。印字品質に問題がある場合には、改善策をご提案します。

弊社では実際に印字されたQRコードの印字品質が規格に合っているか診断します。

これによりQRコードの印字品質が規格に合っているかを把握でき、読取り不良のトラブルを事前に防止できます。

QRコード診断サービスの受診例

※トナーの飛散によって黒セルが太り、白セルより大きくなっている例



QRコード拡大写真

問題点と改善策

白セルが潰れてしまい、読取り難いQRコードとなっています。

黒セルと白セルの大きさのバランスがとれたQRコードを出力する印刷条件の設定、シンボル生成条件の設定方法をご提案しました。

QRコード診断をご希望の際には、弊社・営業スタッフにご連絡ください。

本資料に記載された内容は予告無く変更する場合があります。予めご了承ください。